練馬区立大泉中学校　　学校だより

中 大泉

「人は学ぶ」
「人は変わる」
「人は輝く」

５月号
令和５年　５月１８日
発行者　新村　紀昭
編　集　相川　直綱

運動会に向けて

One for all, All for one.

５月の連休も終わり、運動会の練習もいよいよ本格的に始まりました。先日の全校朝礼では、運動会実行委員長の3年森田淳聖さんから、今年度の運動会スローガン「努個一緒～心は一ついくぞ頂点～」が発表されました。私はそのスローガンのことを初めて知らされたとき、「One for all, All for one.」という言葉を思い出しました。

皆さんも聞いたことがあるでしょう。この言葉の意味として一般的に伝わっている解釈は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」で、チームプレイの大切さを表す美しい言葉として知られています。

この言葉の語源は、古代ゲルマン人の昔からの言い伝えで、特定の賢人が考えだした標語ではないとか、航海する船の乗組員たちの助け合いに由来するという説があるそうです。そして、世界的に有名な小説『三銃士』（1844 年フランス アレクサンドル・デュマ作）では、銃士たちの友情を表すモットーとされています。そして、スポーツの世界でも、その精神がピタリとくるラグビーでよく使われるようになりました。

ところが、名選手にして元全日本監督、「ミスターラグビー」と呼ばれた 故平尾誠二氏は、この言葉には別の解釈があると言ったそうです。

同氏によれば「ワン・フォー・オール（一人はみんなのために）」の訳は正しいが、「オール・フォー・ワン（みんなは一人のために）」の部分は誤訳で「オール・フォー・ワン」の「ワン」とは、「一人」という意味ではなく「勝利」を意味する「Victory」だということなのだそうです。つまり「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」が正しいということのようです。

どんなに優秀な選手でも、一人でできることには限界がある。しかし、チームであればプラスの力が働いて１人＋１人の力が3人、5人の力にもなるというのです。

こうしたことを相乗効果（そうじょうこうか）と言いますが、勝利に向けてチーム一丸となる素晴らしさがここにあるということなのだそうです。しかし、相乗効果を生み出すには、大切なことがあるのではないでしょうか。語源のところで「船の乗組員たちの助け合いに由来する」という説があると紹介しましが、この「助け合い」には「一人一人が自分の責任をきちんと果たし目的を果たす」ということが必要なのだと考えます。スポーツで言えば、選手一人一人がきちんと「勝利」という目的に向かって努力すること。チームの一員として他のメンバーに甘えたり、寄りかかったりしない、責任ある一人の選手として力を出し切ることが必要だということです。

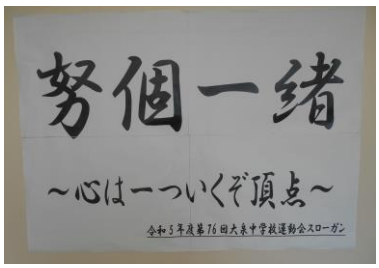
そして、このことは運動会への取組や日々の学校生活にも言えることでしょう。

私は、運動会練習の中で、学級対抗として取り組んできた個人種目や全員リレー、生徒会種目はもちろんのこと、生徒全員で取り組む「大中ソーラン」や「YOSAKOI北の魂」等の表現種目、集合隊形や準備体操、校歌斉唱などにおいても、大泉中というチームの一員として他のメンバーに甘えず、責任ある一人の選手として力を出し切る姿勢が重要なのだと考えます。

今年度の運動会スローガン「努個一緒～心は一ついくぞ頂点～」の中に込められた思いも、同じことだと思うのです。運動会なので、「優勝」という「頂点」を目指し、クラス一丸となって努力することは大切ですが、一方で、大中生徒全員が主体的に活動し、心を一つにして運動会を創り上げるという、もう一つの「頂点」に全員が到達することを期待しています。

（5 月全校朝礼より）

運動会スローガンについて



５月８日の全校朝礼の場で、運動会実行委員長の3年森田淳聖さんから、運動会スローガンが発表されましたので、紹介します。

みなさんおはようございます。運動会実行委員長の森田です。先月はスローガンポスター作成へのご協力ありがとうございました。おかげさまで、皆さんが同じ目標に向かって運動会を進めるためのスローガンが決まりました。第 76 回運動会のスローガンは、「努個一緒～心は一つ いくぞ頂点～」になりました。

このスローガンには、一人一人が努力を重ねながらも、クラス全員で協力し合い、高みを目指すという意味が込められています。このスローガンに向けて活動しながら、私たち実行委員は、皆さんがすべての競技を全力で行い、互いにサポートし合いながら、クラスの輪が深められるような運動会を目指しています。クラスを引っ張れるよう、私たち実行委員は、一つ一つのことを全力でやり切ります。また、今週から学年練習も始まります。最近暑くなってきたので、水筒、帽子を持参してください。体調にも気を遣いながら頑張っていきましょう。

10 組校外学習　それ行け！日本の空港発祥の地へ！　副校長　相川直綱

4月28日（金） 10組は、日本における初めての航空路ができたと言われている所沢航空記念公園・所沢航空発祥記念館に行きました。多くの生徒は初めてなので、事前学習では地図やパンフレットを使いながらイメージを膨らませました。当日は快晴で、公園や記念館にも様々な飛行機の実物が飾られていました。また、記念館には様々なシミュレーターが設置されていて、みんなで譲り合いながら、楽しく体験しました。そして、公園でお弁当を食べたり、自立班ごとにレクリエーションをしたりして、親睦も深めることができました。生徒は縦割りの自立班で、3年生を中心に、それぞれの役割や責任を果たしながら、楽しく取り組んでいる様子が印象的でした。

がんばる!!　大泉中生　～部活動等の記録～

◆ ソフトボール部　第 20 回大泉さくら杯女子ソフトボール大会　第二位　優秀選手賞　川上 純鈴

◆ バドミントン部　令和5年度練馬区研修大会 女子団体　リーグ優勝